

小中一貫校南アルプス市立白根百田小学校

令和5年度 学校評価

1 学校評価の目的

- ◎PDCAサイクルを用いて教育活動を評価し、その成果を基に学校運営の改善や授業改善を図る。
- ◎評価結果を効果的に公表することで、保護者や地域住民が学校の活動を理解し、学校と地域が連携した教育体制を構築する。

2 学校評価の内容

- ①教職員による自己評価 ②児童アンケート ③保護者等による学校関係者評価

評価指標（評価項目）については、令和5年度学校経営の重点に示されている事項に関わって設定する。生徒・保護者アンケートについては、それぞれ10項目・20項目とする。アンケートは肯定的回答と否定的回答が明確になるよう、各項目について4段階評価（保護者は5段階）で実施する。アンケート対象は全生徒・全保護者（家庭数）とする。

3 学校評価のスケジュール

- 11月6日（月）○職員会議にて、教職員自己評価、児童アンケートの提案 → 加筆修正
- 11月22日（水）○保護者にアンケート依頼配布
（紙：QRコードとURLつき、安心安全メール：URLつきにて案内）
○教職員自己評価（全員）☆アンケートおよび自己評価の締め切り12/1。
- 12月4日（月）○教職員自己評価、児童アンケート、保護者アンケートの集計
- 12月14日（木）○校内学校評価委員会にて集計結果の分析と考察
- R61月18日（木）○学校関係者評価委員会（学校関係者評価委員・校長・教頭・教主・生指）
- R61月19日（金）○職員会議にて、集計結果の報告と考察
→市教委へ評価書提出、学校ホームページに掲載

（令和5年度 学校関係者評価委員）

（敬称略）

おの かずあき 小野 和明	・上八田地区会長 ・教育振興会会長	ほさか かずひろ 穂坂 暦広	・百々地区会長 ・教育振興会副会長
しむら いさむ 志村 勇	・上八田地区副会長 ・教育振興会副会長	とざわ さとし 戸澤 聡	・教育関係有識者 元白根東小校長
なかざわ よしあき 中澤 克明	・百々地区育成会会長	ふくい けんじ 福井 健司	・主任児童委員
しみず りょういち 清水 良一	・白根百田小学校PTA会長 保護者代表	なかざわ ちず 中澤 知都	・白根百田小学校PTA副会長 保護者代表

4 評価基準

【1】全体傾向を把握するため、A B評価を肯定的評価とし、C D評価を否定的評価とした。

(A：そう思う B：ほぼそう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない E：わからない)

【2】4つの項目とこれまでの本校の教育活動の概要

(1)「確かな学力の定着」と学習指導の充実について

本校では、校内研究のテーマ「友だちと関わりながら学び、高め合う子どもの育成～書く力の向上に焦点を充てた授業改善を通して」のもと、山梨スタンダードに沿った授業展開によって、主体的・対話的で深い学びの実現を図り、学習指導要領で示される資質・能力の育成に取り組んでいる。今後も一人一人の個性や学習状況に応じた個別最適な学びや、ICTを活用した学習の質的向上を図っていく。

(2)「豊かな心」をもった児童の育成について

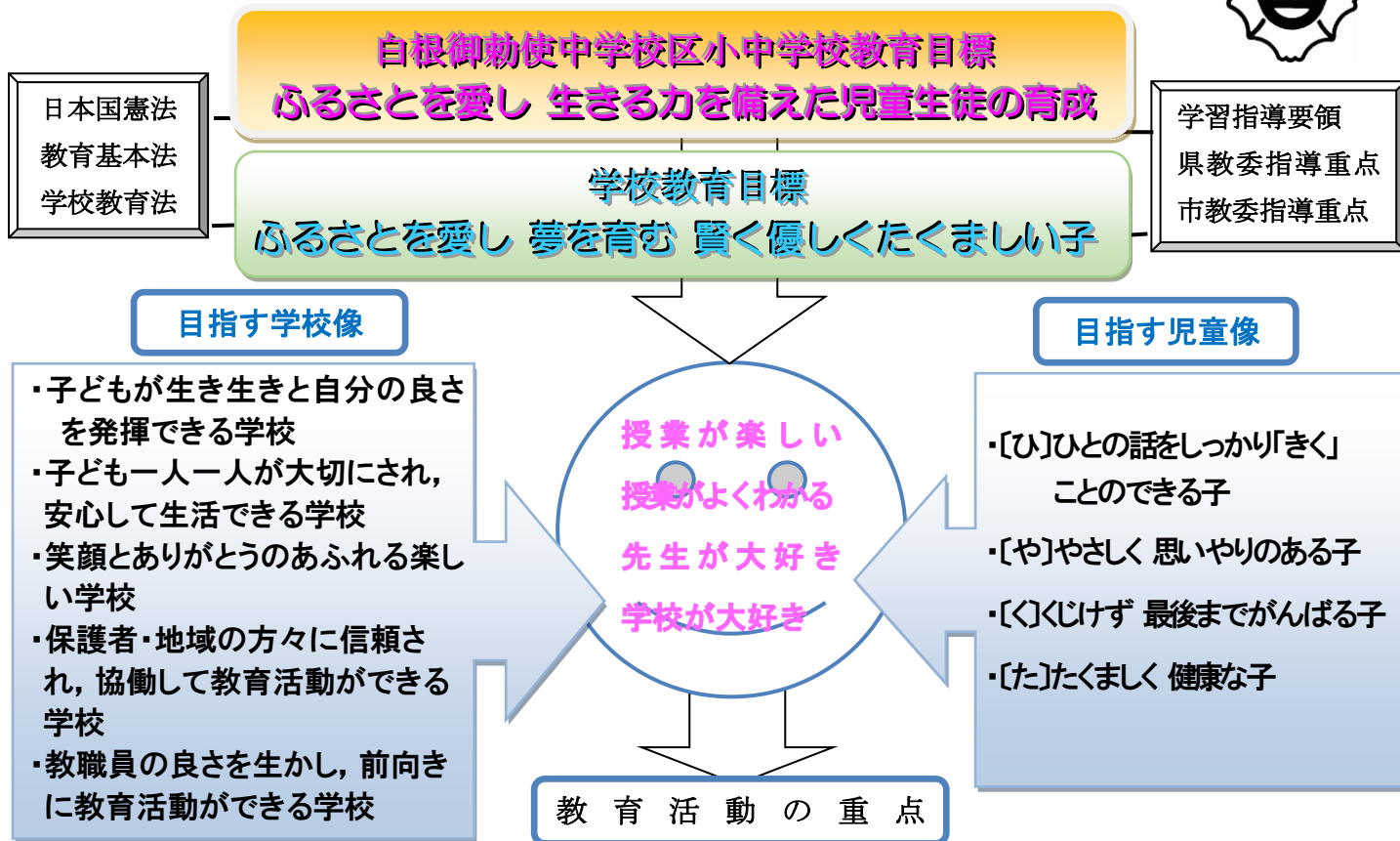
地域ふれあい道徳授業を行い、学校と家庭や地域が連携して子どもたちの豊かな心を育む教育活動を行った。校外学習等で地域の伝統文化に触れることで、地域への愛着を育てている。また、児童会の取組や全校集会を通じて、あいさつの大切さを啓発している。あいさつ運動を実施し、あいさつが自然に行われるよう、学校全体で取り組んでいる。小笠原流礼法の授業を通して、人を大切にする心や、礼儀作法の基本を学んでいる。運動会や合唱交流会、縦割り活動などの様々な学校行事を通して、他学年との交流を意図的に行った。リーダーシップを発揮したり、仲間と協力して何かを成し遂げたりすることで、自己有用感や自己肯定感を育むことができたと考えている。

(3)「健やかな体の育成」とともに安全な学校生活の確保について

児童生徒が心身ともに健やかに成長していくためには、健やかな体の育成が欠かせない。そのため、本校では、日常生活における運動や、バランスの良い食事、十分な睡眠を心がけ、児童生徒の体力や健康の向上に努めている。体育の授業や休み時間の外遊びの機会を充実させることで、児童生徒が自ら体を動かす意欲を高めている。また、登下校中の児童自身の安全確保を指導するとともに、保護者や地域の協力を得て、登下校路の安全点検やパトロールを行うなど、児童生徒が安全に登下校できるよう取り組んでいる。毎月全職員で校内の施設・設備の安全点検を実施するとともに、これまでに5回の避難訓練(地震・火災・不審者・Jアラート)を実施し、児童生徒が安全に学校生活を送ることができるよう、万全の体制を整えている。

(4) 保護者、地域社会との信頼関係に基づいた教育活動の推進について

学校教育は、保護者や地域社会の理解と協力を基盤として成り立っている。学校は、継続的に適切な情報を発信することで、保護者や地域との信頼関係を深めていきたい。そのためには、保護者会や学校運営協議会(学校関係者評価委員会)等の機会を通じて、学校の教育活動や学校運営に関する情報を提供したり、学校のホームページやおたより等を通じたりして、学校の活動を積極的に情報発信している。本日の学校関係者委員会は、学校教育について意見や要望を表明する機会である。学校は、それを真摯に受け止め、学校教育の改善に反映する。そして学校教育に対する保護者や地域社会の理解と参画を促進する。保護者、地域社会と連携・協働しながら、今後も社会に開かれた教育課程の充実を図っていく。



○「確かな学力」の定着と学習指導の充実

- ・学習規律の確立 ・基礎・基本の確実な定着 ・指導と評価の一体化
- ・「やまなしスタンダード」に基づいた学習展開 ・朝学習の取入 ・家庭学習の習慣化

○「豊かな心」をもった児童の育成

- ・道徳教育の充実 ・自他を大切にせる教育活動 ・礼儀と規律の徹底 ・児童理解の深化
- ・思いやりの心の育成 ・美しい学校、美しい環境づくり

○「健やかな体の育成」とともに安全な学校生活の確保

- ・体力向上への取組 ・生涯体育の素地づくり ・基本的な生活習慣づくり
- ・安全教育の推進、安全管理の徹底

○保護者、地域社会との信頼関係に基づいた教育活動の推進

- ・「社会に開かれた教育課程」実現のためのカリキュラムマネジメント ・教育活動の発信
- ・保護者、地域住民との協力、協働

○互いに高め合い、支え合う教職員組織づくり

- ・学び合い、助け合う教職員集団づくり ・研究による授業改善 ・教育公務員としての自覚

○児童一人一人の正しい理解と認識にたった特別支援教育の充実

- ・全職員の共通理解と組織的な対応 ・基本的な知識や生活習慣の徹底
- ・自ら学び、自ら考え行動できる力の伸長

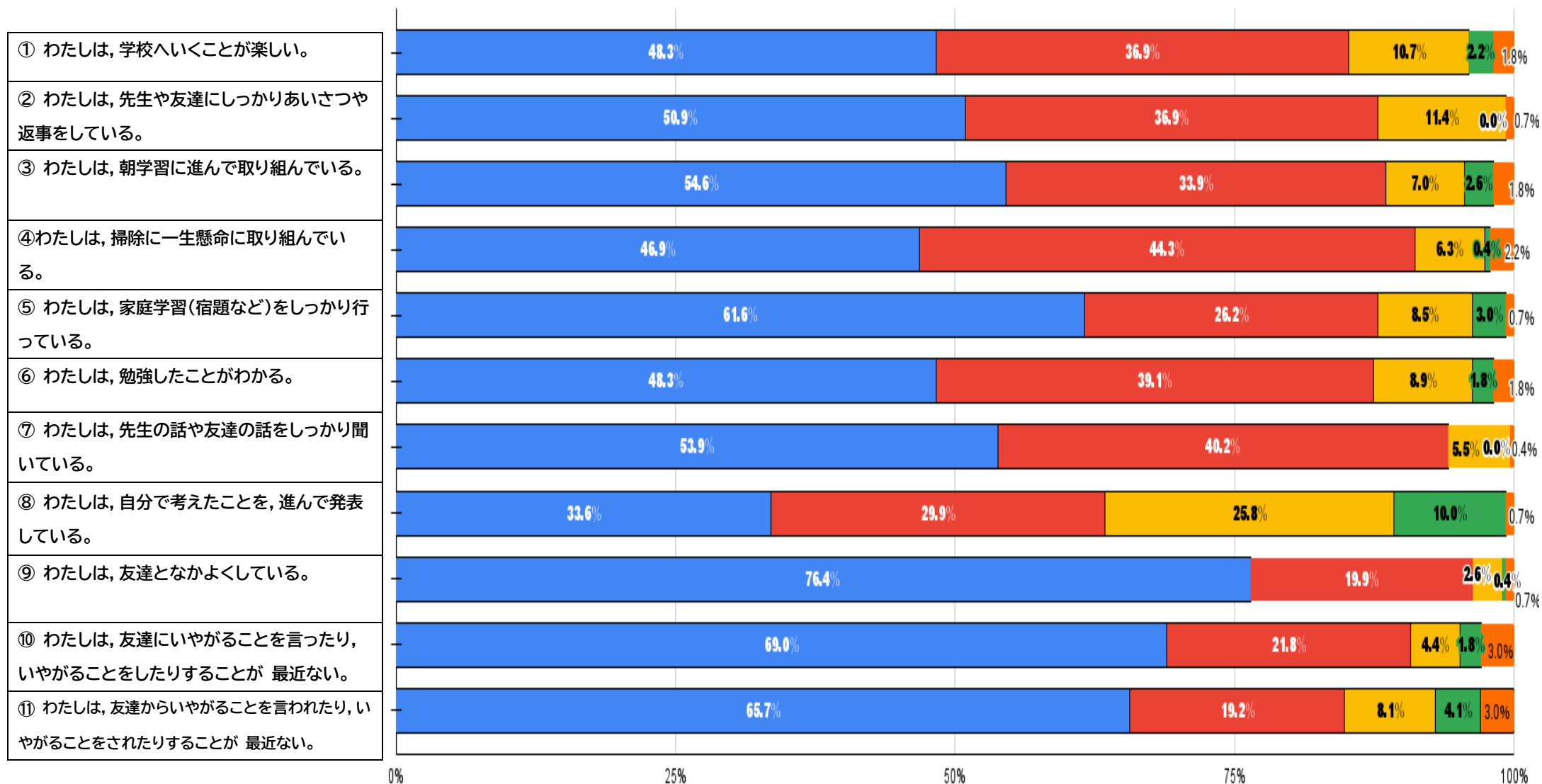
○地域や世界で活躍できる力の育成

- ・ICT活用、GIGA Schoolへの取組 ・外国語教育の推進 ・プログラミング教育の取入
- ・伝統や文化に関する教育の推進 ・御勅使中学校区小中一貫教育の推進
- ・キャリア教育の推進

児童用アンケート集計

令和5年度

■ A そう思う ■ B ほぼそう思う ■ C あまりそう思わない ■ D そう思わない ■ E わからない



結果の考察

【学校生活】(項目①⑨)に関わって

「①わたしは、学校へ行くことが楽しい」の項目が 85.2%で満足できる状態であるが、14.8%の否定的評価の児童は、学校へ行くことに対する充実感を感じることができていないと考えられ不安が残る。

ただ、学校生活において学習面や生活面等での悩みは、誰しもが持ち合わせているものである。児童の興味・関心に合った学習内容や学校行事を計画し、児童が主体的に学習や活動に参加できるようにする。そうすることで児童が学校生活に対し充実感を感じることができるよう努めていく必要がある。

【確かな学力】(項目③⑤⑥⑧)に関わって

「③わたしは、朝学習に進んで取り組んでいる。」「⑤わたしは、家庭学習(宿題など)をしっかりと行っている。」「⑥わたしは、勉強したことがわかる。」の項目の肯定的評価がいずれも 80%以上を示しており、学習習慣が身に付いてきている様子が確認できる。これからも児童の学習目標が達成されるよう、わかりやすい授業をきめ細かく実施していく必要がある

「⑧わたしは、自分で考えたことを、進んで発表している。」の項目は否定的評価が 36.5%と、多くの児童が否定的に捉えている現状がある。学校生活の中で児童相互の意見を発表し聞きあう言語活動を充実させることや、安心して自分の意見が発表できる学級経営に取り組むことで、改善に取り組んでいく。

【豊かな心】(項目②④⑩⑪)に関わって

「②わたしは、先生や友達にしっかりあいさつや返事をしている。」「④わたしは、掃除に一生懸命に取り組んでいる。」の肯定的評価が 90%近い数字を示している。地域、児童会活動の挨拶運動や、生活目標の設定等が効果的に作用している結果だと考えられる。一方で挨拶にしても掃除にしても、目標の習慣化まで定着していない児童や、地域に対しての挨拶に課題のある児童も見受けられる。そのため、学校全体で引き続き挨拶や清掃に取り組む必要がある。

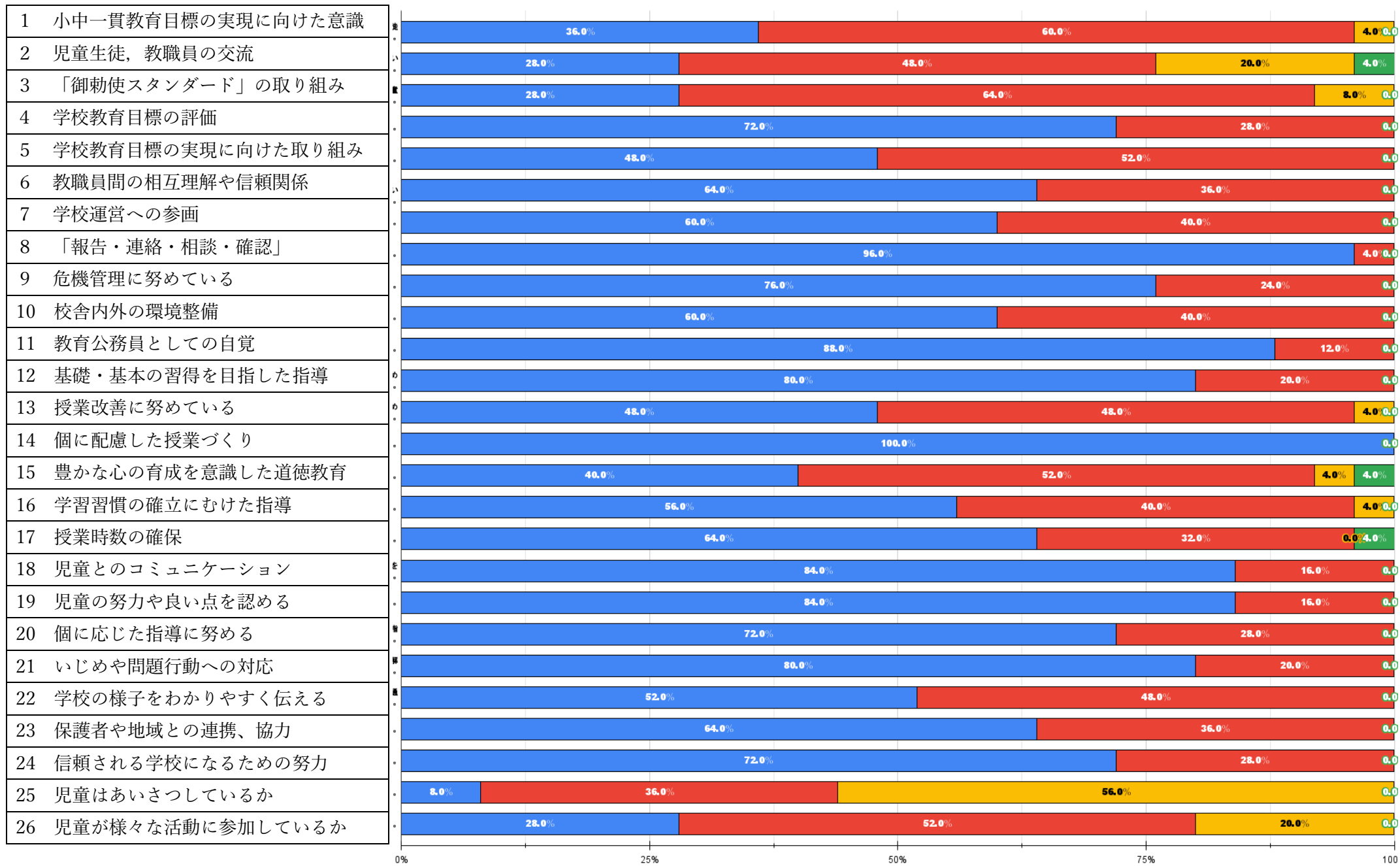
「⑩ わたしは、友達にいやがることを言ったり、いやがることをしたりすることが 最近ない。」「⑪ わたしは、友達からいやがることを言われたり、いやがることをされたりすることが 最近ない。」の項目が肯定的評価 80%を超えている。これからも児童の悩みを把握し、楽しい学校生活を過ごすために、悩みを調査するアンケートの毎学期の実施や、児童相互の人間関係の醸成を目指す学級・学校経営に取り組んでいく。

【健やかな体】(項目⑦)に関わって

「⑦わたしは、先生の話や友達の話をしっかり聞いている。」の項目が 94.1%と満足できる状態にある。普段の学校生活で引き続き人の話を聞くときに気を付けなければならないことの確認や、必要な情報を聞き取る力の育成につながる指導を続けていく。

■ A そう思う ■ B ほぼそう思う ■ C あまりそう思わない ■ D そう思わない ■ E わからない

【教職員アンケート】



教職員（自己評価）アンケート

結果の考察

全体の傾向を把握するため、「A」「B」評価を肯定的評価とし、それらの合計が80%を超えている場合は「おおむね満足できる状態」と判断した。また、「C」「D」の評価を否定的評価とし、それらの合計が20%を超えている場合は「改善の余地がある状態」と判断した。これらの評価基準からすると、26項目中23項目は「満足できる状態」であり、23項目全てが90%以上の肯定的評価だった。「否定的評価」に目を向けると、合計が20%を超える項目が3つという結果だった。全体的に良好な状況が継続しているものの、改善すべき内容があることもわかった。

【学校生活】（項目①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖）に関わって

職員全体が学校教育目標を理解し、目標達成の実現に向けて取り組んでいることが表れている。職員一人一人が各自の分掌や役割を理解し、業務に専念できるのは、学校長を中心とした組織が十分に機能しているとも言える。しかし、項目3「児童と職員の交流」に「C」評価があることに注目したい。働き方改革の流れに乗れない実態が本校にもある。多様化する家庭や児童の問題、限られた人員、減らない業務、変われない意識など、多くの理由があるが、多忙化解消のために少しずつ変えて行ったり、外部に要求したりすることが求められる。多くの教職員が勤務時間内で業務を終えることができない。今、学校が機能しているのは、多くの教職員の日常生活の犠牲があることを忘れてはならない。

【確かな学力】（項目⑫⑬⑭⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖）に関わって

先生方は日々の授業をととても大切に考え、児童に基礎、基本の定着、そして内容の理解が深まるように努めていることがわかる。今後も校内研究の充実やICT活用を図ることで、教職員の授業力を向上させ、児童一人一人に寄り添った授業を目指していきたい。

【豊かな心】（項目⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖）に関わって

日々、先生方が児童一人一人に寄り添い、児童理解に努めていることがわかる。ただ、年々増える様々な特性を持つ児童への対応は、適切な指導と必要な支援の両輪が必要で、担任一人で抱えるものではない。「豊かな心の育成」のために、教職員一人一人のスキルアップはもちろん、専門家の要請や研修、ケース会議などを充実させていきたい。

「あいさつ」は本校の課題である。一朝一夕でできるようにはならないものであるため、職員が率先垂範したり、家庭や地域にお願いしたりするなど、地道に指導していくことが必要である。

【健やかな体】（項目⑫⑬⑭⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖）に関わって

特に「体力の向上」を意図した質問はなかったが、先生方が主に体育の授業でつきたい力を意識した授業をされていることがわかる。体育、スポーツを通じて健康な体をつくることはとても大切なことである。また、学校体育は目標に向かう姿勢や努力、他者への思いやりなど、心の成長も期待できる。体育だけでなく、特活など体を動かす活動をとおして学校教育目標の具現化を図っていきたい。

令和5年度 学校評価（保護者）に関わる成果と課題・改善方策

1 教育活動の重点

- (1) 「確かな学力」の定着と学習指導の充実
- (2) 「豊かな心」をもった児童の育成
- (3) 「健やかな体の育成」とともに安全な学校生活の確保
- (4) 保護者、地域社会との信頼関係に基づいた教育活動の推進

2 成果と課題・改善策について

はじめに、学校生活（項目⑨）に関わって

「お子様は、学校に行くことを楽しみにしている」という質問について、84.5%が「はい」と回答した。児童に「わたしは、学校へいくことが楽しい」と同様な質問をしたところ、85.2%が「はい」と回答した。一方で、14.7%の児童が「いいえ」と回答している。本校のグランドデザインの中心である「授業が楽しい、先生が大好き、授業がよくわかる、学校が大好き」のキーワードを、すべての子どもたちが実感できる学校運営、学校教育を進めていく必要がある。学校生活に課題や不満を抱えている児童が学校生活を楽しむようになるためにも、具体的な取り組みを考えていく必要がある。

(1) 「確かな学力」の定着と学習指導の充実（項目②⑥⑫）に関わって

「先生は、基礎基本の徹底や学習のつまづきの解消に積極的に取り組んでいる」と「お子様は学習がわかり、基礎基本が身についている」について、肯定的な回答が昨年度より大幅に増加し、高い結果を得た。しかし、否定的な評価があることを考えると、子どもが「理解していない」「ついていけない」と心配している保護者の存在もわかり、早急に対策を講じなければならない。指導力と授業力の向上は、教員の責務であり、すべての子どもに、わかりやすい授業の提供を心がけたい。家庭学習も含め、学校と家庭との連携を密にしながら、子どもたちの学力の保障をしていく。また、クロームブックを活用して、個別最適な学びを進めていく。

(2) 「豊かな心」をもった児童の育成(項目③⑦⑩⑪⑬⑱)に関わって

・「学校は、思いやりの心やいじめ防止におけ努めている」「お子様は、友達と仲良く生活している」については、肯定的な意見が多い。一方、「お子様は、学校のことをよく話す」については25%が否定的回答であり、家庭内で子どもから親にあまり話をしないようである。保護者へは、受け身で聞くだけでなく積極的に問いかけるような会話の持ち方をすることも必要だと考えられる。

・あいさつについて、「家庭内で、おはよう、おやすみなどのあいさつがされている」は96.3%の肯定的回答に対し、「お子様は、地域や家庭で進んであいさつをしている」は72.1%の肯定的回答結果だった。昨年度の92.9%の肯定的回答と比較しても、低評価であることは否めない。これは、家庭でのあいさつが徹底されている一方で、地域社会でのあいさつの重要性が認識されていないことが原因と考えられる。地域社会においては、家庭以外の大人や子どもとの交流が多く、あいさつが社会生活を円滑に進めるために欠かせない要素となる。地域社会におけるあいさつの重要性を啓発する取り組みを通して子どもたちが進んであいさつをしてくれるようになることを期待したい。

(3) 「健やかな体の育成」とともに安全な学校生活の確保(項目⑧⑯)に関わって

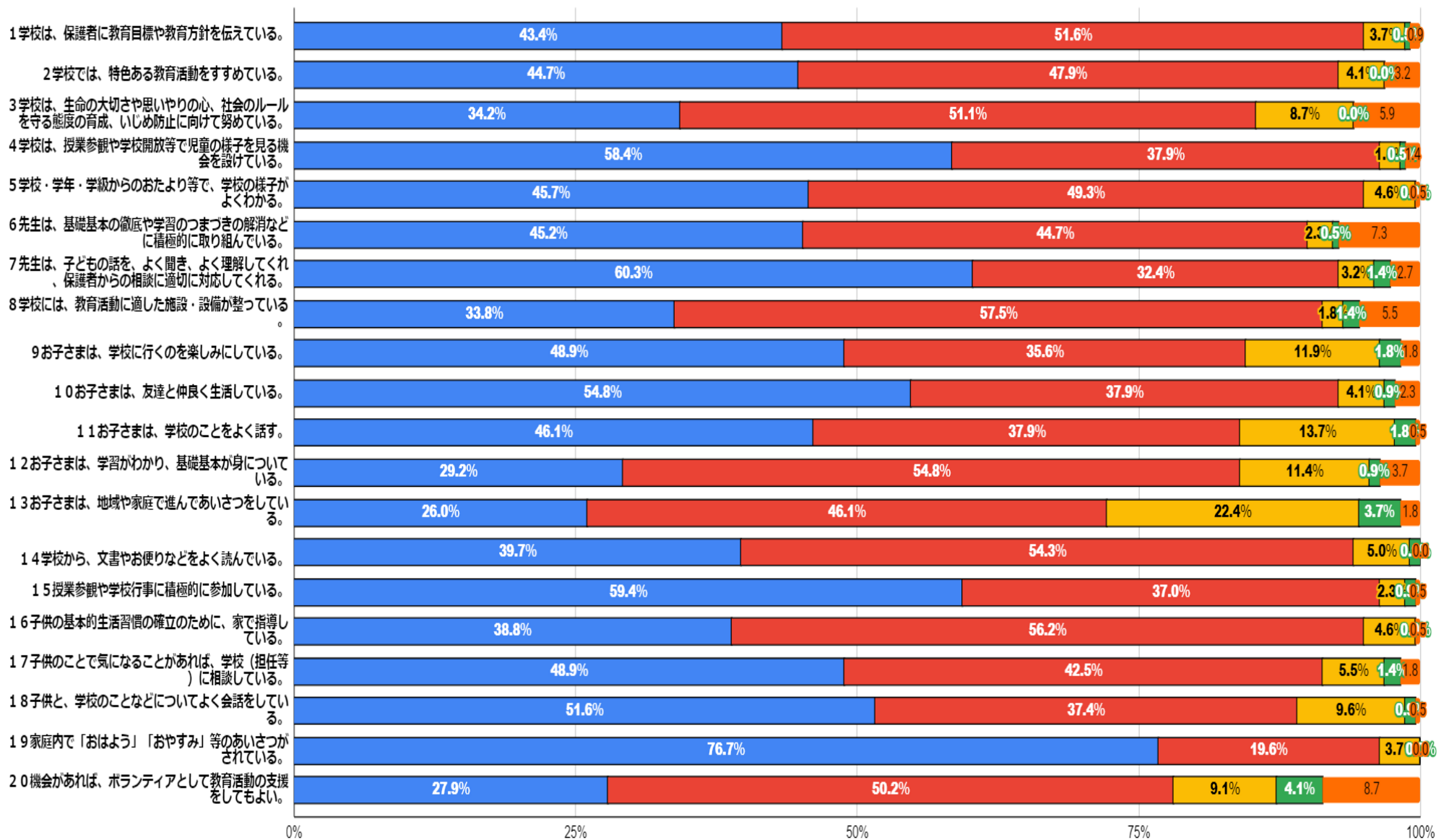
・「基本的生活習慣の確立のために、家で指導している」については95%が肯定的回答である。学校と家庭が連携して、継続した指導や取組を続けていく。学校では、基本的生活習慣の大切さやその確立のための方法について、保護者向けの講演会の案内や資料の配布を行う。家庭では、子どもの睡眠時間や食事・運動の習慣を把握し、適切な指導を行う。子どもの自主性を尊重し、自ら基本的生活習慣を身につけていくことができるよう、サポートする。

・「学校には教育活動に適した施設、設備が整っている」について、音響設備の不具合が指摘された。運動会における屋外スピーカーの改善を進める必要がある。予算の制約もあるので教育委員会と折衝の中で充実させていく。また、児童の登下校時における安全確保や害虫(蜂や蛇など)への早急な対応も重要である。

(4) 保護者、地域社会との信頼関係に基づいた教育活動の推進(項目①④⑤⑭⑮⑰⑱⑳)に関わって

・全体的に概ね肯定的な回答であった。本校の保護者は、学校教育や子どもの教育に対する意識が高く、とても協力的である。保護者は学校教育への期待があり、学校はその期待に応え、保護者の信頼を得るような教育活動を行っていく。具体的には、ホームページの充実やICTの活用、学校開放等を通じ、学校への理解と協力を得られるようにしていく。保護者や地域社会との信頼関係のもと、学校教育目標の実現に向けて努めていく。

■ A そう思う ■ B ほぼそう思う ■ C あまりそう思わない ■ D そう思わない ■ E わからない



		A そう思う(人)	B ほぼそう思う(人)	C あまりそう思わない(人)	D そう思わない(人)	E わからない(人)	R 5 肯定的意見A B (%)	R 4 肯定的意見A B (%)
学校の教育活動について	1 学校は、保護者に教育目標や教育方針を伝えている。	95	113	8	1	2	95 ↑	92.5
	2 学校では、特色ある教育活動をすすめている。(朝学習、縦割り班活動、体験活動、各学年・学級の特色ある取組など)	98	105	9	0	7	92.6 ↑	90.8
	3 学校は、生命を大切にする心・思いやりの心や社会のルールを守る態度の育成に取り組みいじめ防止に向けて努めている。	75	112	19	0	13	85.3 ↑	84.7
	4 学校は、授業参観や学校開放等で児童の様子を見る機会を設けている。	128	83	4	1	3	96.3 ↑	93.9
	5 学校・学年・学級からのおたより等で、学校の様子がよくわかる。	100	108	10	0	1	95 ↑	91.2
	6 先生は、基礎基本の徹底や学習のつまづきの解消などに積極的に取り組んでいる。	99	98	5	1	16	89.9 ↑	82.4
	7 先生は、子どもの話を、よく聞き、よく理解してくれ、保護者からの相談に適切に対応してくれる。	132	71	7	3	6	92.7 ↓	92.9
	8 学校には、教育活動に適した施設・設備が整っている。	74	126	4	3	12	91.3 ↑	88.8
子どもの様子について	9 お子さまは、学校に行くのを楽しみにしている。	107	78	26	4	4	84.5 ↓	86.4
	10 お子さまは、友達と仲良く生活している。	120	83	9	2	5	92.7 ↑	92.5
	11 お子さまは、学校のことをよく話す。	101	83	30	4	1	84 ↓	85.8
	12 お子さまは、学習がわかり、基礎基本が身についている。	64	120	25	2	8	84 ↑	73.9
	13 お子さまは、地域や家庭で進んであいさつをしている。	57	101	49	8	4	72.1 ↓	92.9
保護者御自身について	14 学校から、文書やお便りなどをよく読んでいる。	87	119	11	2	0	94 ↑	92.9
	15 授業参観や学校行事に積極的に参加している。	130	81	5	2	1	96.4 ↓	98
	16 子供の基本的生活習慣の確立のために、家で指導している。	85	123	10	0	1	95 ↑	93.2
	17 子供のことで気になることがあれば、学校(担任等)に相談している。	107	93	12	3	4	91.4 ↑	89.5
	18 子供と、学校のことなどについてよく会話をしている。	113	82	21	2	1	89 ↑	88.8
	19 家庭内で「おはよう」「おやすみ」等のあいさつがされている。	168	43	8	0	0	96.3 ↑	95.6
	20 機会があれば、ボランティアとして教育活動の支援をしてもよい。	61	110	20	9	19	78.1 ↓	79.3